

2022～2023 年度代議員候補者について

2022 年 1 月 5 日

公益社団法人日本分析化学会
役員等候補者選考委員会

日本分析化学会の代議員は、総会を構成し、定款に定められた事項（理事および監事の選任又は解任、貸借対照表及び損益計算書の承認等）について審議、決定します。代議員候補者の選考は、定款第 14 条に基づき、日本分析化学会の正会員（名誉会員並びに永年会員並びにシニア会員は正会員に含まれます）、教育会員及び維持会員の代表者の投票によりこれらを決定することになっております。別紙記載の 2022～2023 年度代議員候補者は、公益社団法人日本分析化学会代議員選挙規則により各支部長及び正会員、教育会員並びに維持会員から推薦された候補者について役員等候補者選考委員会の審議を経て選定されたものです。

つきましては、日本分析化学会正会員（含名誉会員、永年会員、シニア会員）、教育会員、維持会員代表者各位には、別紙投票用紙により漏れなく投票をお願いします。候補者全員に賛成の場合は、そのまま切り取ってお送りいただければ有効投票となります。不適任と思われる候補者がいる場合は、その氏名を消し、消した分だけ空欄に適任と思われる正会員（含名誉会員、永年会員、シニア会員）の氏名と所属または維持会員名を記入のうえ、投票ください。ただし、定数（130 名）を超えて投票されると無効になります。

投票は無記名投票です。一つの封筒に 1 投票を入れ、封筒には「投票在中」と朱記し、勤務先（又は現住所）、氏名又は維持会員代表者名を明記のうえ下記宛にお送りください。

投票締切日 1 月 31 日（消印有効）

投票送付先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号（公社）日本分析化学会役員等候補者選考委員会

☆ ☆

代議員選考に関する規程抜粋

定款 第 14 条 学会の社員は、正会員、教育会員及び維持会員の中から選出された 90 名以上 130 名以内の代議員をもって「一般法人法」の社員とする。

- 2 代議員を選出するため、正会員、教育会員及び維持会員による代議員選挙を行う。代議員選挙を行うために必要な細則は理事会において別に定める。
- 3 代議員は、正会員、教育会員及び維持会員の中から選ばれることを要する。正会員、教育会員及び維持会員は、前項の代議員選挙に立候補することができる。

代議員選挙規則
(選挙権)

第 2 条 選挙権は、選挙が行われる年度の 1 月 1 日現在における正会員、教育会員及び維持会員が、これを有する。

(代議員の選出)

第 3 条 代議員は、学会の正会員、教育会員及び維持会員の全有権者による投票により選出する。

- 2 別に定める役員等候補者選考委員会（以下選考委員会と略記する）において、選挙が行なわれる年度の 11 月 30 日までに代議員候補者を募り、翌年 1 月発行の機関誌により候補者を会員に通知し、2 月の理事会以前に選挙を実施する。
- 3 選考委員会は、再選挙にあっては、これを行うべき事由を生じてから 3 か月以内に選挙が終了するよう選挙を実施する。

(代議員選挙の管理)

第 4 条 代議員選挙は、選考委員会の管理のもとで行う。

(代議員支部推薦候補者の選考)

第 5 条 支部は、支部所属の正会員、教育会員及び維持会員の中から候補者を推薦できるものとする。

お知らせ

- 2 支部は前項の推薦をするにあたっては、広く支部所属の正会員、教育会員及び維持会員に推薦希望の有無を募らなければならない。
- 3 支部長が、会長に推薦する代議員候補者中には、当年度の役員及び支部長であって退任する者及び次期支部長を含むことができる。

(代議員支部推薦以外の立候補者の届け出)

第6条 正会員、教育会員及び維持会員のうち、代議員に立候補しようとする者は、自薦または正会員、教育会員、維持会員の推薦により、選考委員会に、その定める締切日までに届け出る。

(代議員選挙の方法)

第7条 各支部の推薦候補者数は、当該支部に所属する年度初めの正会員、教育会員及び維持会員の数を勘案の上選挙のつど理事会が決定し、選考委員会に通知する。

- 2 選考委員会は、正会員及び維持会員に対して機関誌による広告により代議員選挙を案内し、立候補者を募集する。選考委員会は、各支部に代議員選挙を案内する。
- 3 選考委員会は支部推薦候補者を機関誌の広告により各支部の正会員及び維持会員に周知させ、支部推薦以外の立候補者を同様の方法により全正会員及び維持会員に周知させる。
- 4 支部推薦によって選出された代議員が、その選出された支部から別の支部に所属を変更した場合でも、選出された支部の定数に含まれるものとする。

(代議員選挙の投票)

第8条 選挙は有権者の郵便投票によって行う。

- 2 選挙期日までの消印のある場合で開票前に到着したものは有効とする。
- 3 投票に際して、投票者本人が有権者であるかどうかを選考委員会を確認するために封筒外側に氏名を記入するものとする。
- 4 投票に際して投票者を確認するためにとられた措置による個人情報投票の有効性を確認する以外にはこれを用いてはならない。

2022 年度有功賞候補者推薦について

日本分析化学会は、毎年、多年にわたって分析の実務に従事した方々や、分析に欠くべからざる機械、器具、試薬などの製造等の実務に従事した方々を表彰して「有功賞」を贈呈してまいりました。

本年も下記の有功賞規程により 2022 年度有功賞候補者を募集します。各関係機関におかれましては、適任者がおられましたら 1 名（維持会員の場合は 1 口につき 1 名）を推薦くださいますようお願い申し上げます。

『有功賞規程』

第 1 条 本会に有功賞を設け、多年にわたり分析の実務に従事し、又は分析に欠くべからざる機械、器具並びに試薬などの製造等の実務に従事して功労のあった者に、これを贈呈する。

第 2 条 有功賞は、賞記並びに賞牌とし、年会において贈呈する。

第 3 条 会長は、毎年会誌「ぶんせき」1 号に有功賞候補者の推薦に関する会告を掲載する。

第 4 条 有功賞候補者の推薦者は、維持会員代表者、公益会員代表者及び支部長とする。

(1) 維持会員代表者及び公益会員代表者は、その機関に所属する者を推薦することができる。

(2) 支部長は、維持会員及び公益会員に所属しない会員歴 5 年以上の正会員を推薦することができる。

第 5 条 前条によって推薦される者は、受賞する年の 1 月 1 日現在において満 50 歳以上であり、かつ休職期間を除いて満 25 年以上第 1 条の実務に従事している者とする。

第 6 条 候補者の推薦に際しては、次の (1)～(3) に規定する書類正、副各 1 通を 4 月 30 日までに本会に提出するものとする。

(1) 推薦書 (2) 推薦理由書 (3) 被推薦者履歴書（いずれも本会所定の用紙に記入すること）

第 7 条 有功賞候補者の選考は、有功賞審査委員会において行う。

審査委員は、理事会が本会会員中より 11 名を選考し、会長がこれを委嘱する。

委員長は、委員の互選による。

(以下省略)

☆ ☆

1) 2022 年度有功賞授賞式は、9 月 15 日（木）第 71 年会（岡山）において行う予定です。

2) 被推薦者の学歴制限はありませんが、被推薦者は本年 1 月 1 日現在において第 1 条の実務に従事されていることが必要ですので、御注意ください（上記第 5 条）。

3) 有功賞候補者推薦書の維持会員代表者氏名は、本会に登録されている代表者氏名を記入してください（代表者氏名が異なる場合は返却します）。

4) 推薦理由書の所属部課係名、実務内容並びに期間は、できるだけ詳細に記入してください。

5) 推薦書類（推薦書、被推薦者履歴書、推薦理由書：本会所定の用紙）は、正 1 通、副 1 通（コピーでも可）を下記期限までに提出してください。

6) 推薦期限：4 月 30 日（郵送の場合は、当日の消印のあるものまで受理します）

7) 推薦書類提出先：〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号

公益社団法人日本分析化学会有功賞係（メールでの送信は shomu@jsac.or.jp）

8) 所定の書類を入用の場合は、<https://www.jsac.jp/jsac/rule/commendation/> からダウンロードしてください。

2021年度液体クロマトグラフィー分析士二段認証試験実施のお知らせ

標記につきまして、下記要領で実施する予定ですのでお知らせいたします。

日時 2022年1月24日(月)14時~16時

会場 北とびあ・第二研修室(7階)[東京都北区王子1-11-1, 交通:JR京浜東北線・地下鉄南北線「王子」駅前]

二段資格のイメージ 各種分析士に共通するものとして、「手順書、作業マニュアル、規格を見れば、自分で計画して業務を遂行できるレベル。当該分析・測定技術に関連する物理、化学、生物、電気、機械等の基礎知識を有し、装置等の日常点検、保守等も行える。」と規程されます。液体クロマトグラフィー分析士においては「HPLC装置とそれぞれのパーツの内容や原理の理解が十分にある。HPLCを用いた試験について、正確な操作を行う事が出来る。簡単な部品の交換が自分で出来る。」ことが求められます。なお、試験問題としては科学の各分野並びに化学・分析化学一般に関する知識を問う内容が約40%含まれます。

受験料 6,600円(合格者は登録料3,300円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われた液体クロマトグラフィー分析士初段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、専用ホームページ(<https://forms.gle/qL6MgCBKATWtiYG67>)にアクセスして必要事項を入力してください。

申込締切 1月11日(火)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義:公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会((シャ)ニホンブンセキカガクカイエキタイクマトグラフィー)。複数名の受験料を一括で振り込まれた場合は、その旨と受験者のお名前を専用ホームページ内に記入してお知らせください。一度お振込いただいた受験料は返却しません。万一、コロナ禍等で試験が中止された場合には、次回の受験料を免除します。

問合せ先 (公社)日本分析化学会・LC研究懇談会・分析士認証専門部会[nakamura@jsac.or.jp]

2021年度LC/MS分析士二段認証試験実施のお知らせ

標記につきまして、下記要領で実施する予定ですのでお知らせいたします。

日時 2022年2月1日(火)14時~16時

会場 北とびあ・第二研修室(7階)[東京都北区王子1-11-1, 交通:JR京浜東北線・地下鉄南北線「王子」駅前]

二段資格のイメージ 各種分析士に共通するものとして、「手順書、作業マニュアル、規格を見れば、自分で計画して業務を遂行できるレベル。当該分析・測定技術に関連する物理、化学、生物、電気、機械等の基礎知識を有し、装置等の日常点検、保守等も行える。」と規定されます。LC/MS分析士においては「LC/MS装置とそれぞれのパーツの内容や原理の理解が十分にある。LC/MSを用いた試験について、正確な操作を行うことができる。」ことが求められます。なお、試験問題としては科学の各分野並びに化学・分析化学一般に関する知識を問う内容が約40%含まれます。

受験料 6,600円(合格者は登録料3,300円を別途申し受けます)

受験資格 受験できる方はこれまでに行われたLC/MS分析士初段試験に合格し、登録された方に限ります。

申込方法 受験料の銀行振込後、専用ホームページ(<https://forms.gle/ZCJJDyahMiyC5A>)にアクセスして必要事項を入力してください。

申込締切 1月18日(火)

振込銀行口座 りそな銀行五反田支店普通預金0802349 名義:公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会((シャ)ニホンブンセキカガクカイエキタイクマトグラフィー)。複数名の受験料を一括で振り込まれた場合は、その旨と受験者のお名前を専用ホームページ内に記入してお知らせください。一度お振込いただいた受験料は返却しません。万一、コロナ禍等で試験が中止された場合には、次回の受験料を免除します。

問合せ先 (公社)日本分析化学会・LC研究懇談会・分析士認証専門部会[nakamura@jsac.or.jp]

2021年度液体クロマトグラフィー分析士初段認証試験

2021年度LC/MS分析士初段認証試験

液体クロマトグラフィー研究懇談会のホームページをご参照ください。

第367回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社)日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

HPLCやLC/MS分析をはじめとした分析業務において、分析精度はもちろん、効率化も求められます。また、2020年には新型コロナウイルス感染拡大防止のためにリモートワークも行われるようになり、分析をリモートで行うなど、デジタル化を含め分析業務の手法も変わりつつあります。

本例会では、効率化・デジタル化をサポートするHPLC、LC/MSおよびこれらの周辺技術・機器についてご紹介いただきます。

期日 2022年1月21日(金)13:00~16:50

会場 Zoom オンライン例会

講演主題 意外と知らないHPLC、LC/MS分析の効率化・デジタル化の手法

講演

講演主題概説(オーガナイザー)(13:00~13:05)

(メルク株)石井直恵(LC分析士二段)

1. デジタルラボの現在と未来~スマートネットワークで実現するテレワーク、データ管理の進化形~(13:05~13:45)

(アジレント・テクノロジー株)熊谷浩樹(LC分析士四段、LC/MS分析士四段)

2. アフターコロナでも役立つHPLC、LC/MSのリモート化・効率化(13:45~14:20)

(日本分光株)寺田明孝(LC分析士三段、LC/MS分析士二段、IC分析士初段)

3. バイオセパレーションを効率化するためのLCソリューション(14:20~15:00)

(日本ウォーターズ株)島崎裕紀(LC分析士三段、LC/MS分析士二段)

休憩(15:00~15:30)

4. 超純水の取扱いからできるラボの効率化(15:30~16:10)

(メルク株)石井直恵(LC分析士二段)

5. 総括「意外と知らない HPLC, LC/MS 分析の効率化・デジタル化の手法」(16.10~16.50)

(東京理科大学) 中村 洋

(LC 分析士五段, LC/MS 分析士五段)

参加費 LC 研究懇談会・個人会員 1,000 円, 協賛学会 (日本分析化学会, 日本薬学会, 日本化学会) 及び後援学会 (日本農芸化学会) 会員 3,000 円, その他 4,000 円, 学生 1,000 円. 参加申込締切日後の受付はできませんので, ご了承ください.

情報交換会 講演終了後, 講師を交えて情報交換会を開催します (会費 1,000 円). 締切日後のご参加はできませんので, 参加希望者は必ず事前にお申込みください.

申込締切日 2022 年 1 月 13 日 (木) (入金締切時刻: 15 時まで)

参加申込及び参加費等納入締切日

参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先 (電話番号), LC 会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記の上, お申込みください.

お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレス宛に「第 367 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付 (自動返信)」のメールが届きます. メールが届かない場合は, 世話人までお問い合わせください.

参加費の納入が確認できた方には, 2022 年 1 月 14 日以降に①例会サイト入場 URL と②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします. また, 情報交換会参加費納入者には, ③情報交換会サイト入場 URL をお知らせいたします. なお, 請求書と領収書の発行はいたしていません.

領収書は, 振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます.

申込先 <https://forms.gle/SN6ZwRXWtSCV8n5F8>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 0802349

口座名 シャ) ニホンブンセキカガクカイ [公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

問合せ先 (公社) 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

世話人 メルク(株)石井直恵 [E-mail: naoe.ishii@merckgroup.com]

第 368 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社) 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

高分子の構造は分子量分布, 分岐構造, 立体規則性, 共重合組成等, 非常に複雑で曖昧さがあります. この分析において, HPLC/UHPLC が果たす役割は大きく, SEC モードをはじめとする多くの分離モード, 検出器を用いて目的に応じた構造解析が進められています. 本例会では, これらを用いた高分子分析の進展についてご講演していただきます.

期日 2022 年 2 月 17 日 (木) 13.00~17.15

会場 Zoom オンライン例会

講演主題 “UHPLC, HPLC を用いた高分子分析の最前線”

講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13.00~13.05)

(三菱ケミカル(株)) 前中佑太

(LC 分析士初段, LC/MS 分析士二段)

1. GPEC による高分子分析と 2D-LC への応用 (13.05~13.35) (アジレント・テクノロジー(株)) 熊谷浩樹 (LC 分析士四段, LC/MS 分析士二段)

2. LC を用いた共重合体の組成分布解析 (13.40~14.10)

(三菱ケミカル(株)) 行政嘉子

(LC 分析士初段, LC/MS 分析士初段)

3. 高分子分析における SEC の利用 (14.15~14.45)

(東ソー(株)) 伊藤誠治

(LC 分析士五段, LC/MS 分析士二段)

休憩 (14.45~15.00)

4. 高分子分析の新しい提案…LC-Raman と遠心 FFF (15.00~15.30)

(株)島津製作所 渡邊京子 (LC 分析士四段)

5. GPC-LS による高分子の構造情報 (15.35~16.05)

(日本ウォーターズ(株)) 島崎裕紀

(LC 分析士三段, LC/MS 分析士二段)

6. HPLC を活用した高質量分解能質量分析計による高分子分析の実際 (16.10~16.40)

(日本電子(株)) 佐藤貴弥 (LC 分析士初段取得予定)

7. 総括「UHPLC, HPLC を用いた高分子分析の最前線」(16.45~17.15)

(東京理科大学) 中村 洋

(LC 分析士五段, LC/MS 分析士五段)

参加費 LC 研究懇談会個人会員 1,000 円, 協賛学会 (日本分析化学会, 日本薬学会, 日本化学会) 及び後援学会 (日本農芸化学会) 会員 3,000 円, その他 4,000 円, 学生 1,000 円. 参加申込締切日後の受付はできませんので, ご了承ください.

情報交換会 講演終了後, 講師を交えて情報交換会を開催します (会費 1,000 円). 締切日後のご参加はできませんので, 参加希望者は必ず事前にお申込みください.

参加申込及び参加費等納入締切日 2022 年 2 月 10 日 (木) (入金締切時刻: 15 時まで)

申込方法 参加希望者は, 下記申込先にアクセスし, 氏名, 勤務先 (電話番号), LC 会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記の上, お申込みください. お申込みが完了した場合には, 登録されたアドレス宛に「第 368 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付 (自動返信)」のメールが届きます. メールが届かない場合は, 世話人までお問い合わせください.

参加費の納入が確認できた方には, 2 月 11 日以降に①例会サイト入場 URL と②「視聴者用操作マニュアル」をお送りします. また, 情報交換会参加費納入者には, ③情報交換会サイト入場 URL をお知らせいたします. なお, 請求書と領収書の発行はいたしていません. 領収書は, 振込時に金融機関が発行する振込票等をもって替えさせていただきます.

申込先 <https://forms.gle/EvgyXZA5uTfVBbTx7>

銀行送金先 りそな銀行五反田支店 (普通) 0802349, 口座名義: シャ) ニホンブンセキカガクカイ [公益社団法人日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

問合せ先 (公社) 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会 世話人 三菱ケミカル(株) 前中佑太 [E-mail: maenaka.yuta.ma@m-chemical.co.jp]

2021 年度北海道分析化学賞・功労賞 授賞式及び受賞講演会

主催 (公社) 日本分析化学会北海道支部

期日 2022 年 2 月 24 日 (木) 16.00~17.00

会場 Web を利用したオンライン開催

プログラム

1. 授賞式 (16.00~16.10)

北海道分析化学賞

(北海道大学大学院工学研究院) 佐藤 久 君

北海道分析化学奨励賞

(北海道大学大学院環境科学院) 大塚 侑 君

北海道分析化学功労賞

(北海道医療大学) 黒澤隆夫 君
2. 受賞講演 (16.10~17.00)
「環境工学と分析化学への挑戦」

(北海道大学大学院工学研究院) 佐藤 久 君
「多段階固相合成による蛍光ソルバトクロミックビーズの合成及び光導波路分光装置を用いたバイオセンシングデバイスの開発」

(北海道大学大学院環境科学院) 大塚 侑 君

参加費 無料

問合先 〒002-8502 札幌市北区あいの里5条3丁目1-3
北海道教育大学札幌校化学教室内 (公社) 日本分析化学会
北海道支部 2021 年度支部長 嶋崎悌司 [電話: 011-778-0685, E-mail: jsac-hb@w9.dion.ne.jp (北海道支部事務局)]

——以下の各件は本会が共催・協賛・
後援等をする行事です——

◎詳細は主催者のホームページ等でご確認ください。

第72回表面科学基礎講座

表面・界面分析の基礎と応用

主催 (公社) 日本表面真空学会

期日 2022年1月12日(水)~2月28日(月)

会場 オンライン (Google Classroom)

ホームページ <http://www.jvss.jp/>

連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル
5階 (公社) 日本表面真空学会事務局 [電話: 03-3812-0266, FAX: 03-3812-2897, E-mail: office@jvss.jp]

21-2 高分子学会講演会

高分子の構造解析 ~見る, 調べる, 理解する~

主催 (公社) 高分子学会行事委員会

期日 2022年2月7日(月)

会場 オンライン開催

ホームページ <https://member.spsj.or.jp/event/>

連絡先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル
6F (公社) 高分子学会 講演会係 [電話: 03-5540-3770,
FAX: 03-5540-3737]

第1回オンライン真空応用技術講座

主催 (公社) 日本表面真空学会

期日 オンデマンド講義受講可能期間: 2022年2月7日(月)
12時~3月15日(火) 12時

会場 オンライン (オンデマンド講義: AirCourse)

ホームページ <http://www.jvss.jp/>

連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル
5階 (公社) 日本表面真空学会事務局 [電話: 03-3812-0266, FAX: 03-3812-2897, E-mail: office@jvss.jp]

表面科学セミナー 2022 (実践編)

「実践! マテリアルズインフォマティクス
実例を通じて学ぶマテリアルズインフォマティクス」

主催 (公社) 日本表面真空学会

期日 3月10日(木)・11日(金)

会場 オンライン開催

ホームページ <http://www.jvss.jp/>

連絡先 〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-16 石川ビル
5階 (公社) 日本表面科学会 [電話: 03-3812-0266,
FAX: 03-3812-2897, E-mail: office@jvss.jp]

第19回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム

主催 ホスト-ゲスト・超分子化学研究会

期日 6月4日(土)・5日(日)

会場 岡山大学創立五十周年記念館（またはオンライン）
ホームページ <https://www.ahgsc.jp/symposium.html>

日本分析化学会標準物質についてのお知らせ

認証標準物質の認証値については、多数の試験機関が参加した共同実験で得られた値を基に標準物質委員会が認証したものである。PT表示の標準物質はISO/IEC17043に基づいて、技能試験で報告された多数の機関の分析値から求めた中央値を付与値として、標準物質委員会が認めたものである。試料の分析にあたり、本標準物質は併行して分析して得られた分析値を認証値と比較して分析値の妥当性を判断するときなどに用いる。認証書などさらに詳しい情報は本会ホームページ (<https://www.jsac.jp>) をご覧ください。

◇有害金属成分化学分析用プラスチック認証標準物質 (Pb, Cd, Cr, Hg)
JSAC 0601-3, JSAC 0602-3 は好評のうち品切れとなり、頒布を中止いたしました。

◇有害金属成分蛍光 X 線分析用プラスチック認証標準物質 (Pb, Cd, Cr)
[JSAC 0611-2~JSAC 0615-2 (ディスク状, 5 枚箱入り)]
RoHS 規制対象無機成分蛍光 X 線分析用として開発した。プラスチックの材質はポリエステル樹脂である。Hg は添加せず、次に示す新たな Hg 専用標準物質を開発した。頒布本体価格：ディスク 5 枚入り 1 セット、本会団体会員：100,000 円、それ以外：150,000 円。

◇水銀成分蛍光 X 線分析用プラスチック認証標準物質 (Hg 専用)
[JSAC 0621~JSAC 0625 (ディスク状, 5 枚箱入り)]
RoHS 規制対象無機成分蛍光 X 線分析用として開発した。Hg 含有率を 5 水準で認証したポリエステル樹脂である。頒布本体価格：ディスク 5 枚入り 1 セット、本会団体会員：70,000 円、それ以外：105,000 円。

◇有害金属成分蛍光 X 線分析用プラスチック標準物質 (Pb, Cd, Cr, Hg, Br)
[JSAC PT0631, JSAC PT0632 (ディスク状, 2 枚箱入り)]
RoHS 規制対象無機成分蛍光 X 線分析用として開発した。プラスチックの材質はポリエステル樹脂である。頒布本体価格：ディスク 2 枚入り 1 セット、本会団体会員：30,000 円、それ以外：45,000 円。

◇ポリ臭化ジフェニルエーテル成分 (PBDEs) 化学分析用プラスチック認証標準物質
[JSAC 0641, JSAC 0642 (粉末状, 25 g 瓶入り 2 本組)]
RoHS 規制の対象となる臭素系難燃剤の PBDEs の 7 成分と全 Br を化学分析用として開発した。プラスチックの材質はポリエステル樹脂である。頒布本体価格：25 g 瓶入り各 1 本、2 本 1 組 1 セット、本会団体会員：95,000 円、その他：130,000 円。

◇臭素成分蛍光 X 線分析用プラスチック認証標準物質 (Br 専用)
[JSAC 0651~JSAC 0655 (ディスク状, 5 枚箱入り)]
RoHS 規制の対象となるプラスチック中の Br の蛍光 X 線分析用として開発した。プラスチックの材質はポリエステル樹脂である。頒布本体価格：ディスク 5 枚入り 1 セット、本会団体会員：70,000 円、それ以外：91,000 円。

◇塩素の化学分析用プラスチック標準物質 (Cl 専用)
[JSAC PT0661-1~JSAC PT0651-3 (ディスク状)]
RoHS 規制の対象となるプラスチック中の Cl の化学分析用として開発した。プラスチックの材質はポリエステル樹脂である。頒布本体価格：ディスク 1 枚につき 10,000 円、ディスク 2 枚につき 15,000 円、ディスク 3 枚につき 20,000 円。

◇フタル酸エステル化学分析用プラスチック標準物質
[JSAC PT0671 (粒状, 3 g 及び 10 g 瓶入り)]
RoHS 規制対象となったフタル酸エステル分析用として新しく開発した。プラスチックの材質はポリエチレン樹脂である。主要成分は DEHP, BBP, DBP, DIBP, DINP, DIDP 及び DNOP である。頒布本体価格：3 g 入り瓶 1 本につき、本会団体会員：50,000 円、それ以外：75,000 円。10 g 入り瓶 1 本につき、本会団体会員：80,000 円、それ以外：120,000 円。

◇金属成分分析用土壌認証標準物質 (全量分析および環境省告示 H10 年 21 号対応)
[JSAC 0401, JSAC 0411 (粉末状, 50 g 瓶入り)]
褐色森林土および火山灰土壌に含まれる Cd, Pb, Cr, As, Se, Be, Cu, Zn, Ni, Mn および V の 11 成分の含有率、溶出試験値を認証した標準物質である。頒布本体価格：50 g 瓶入り 1 本につき本会団体会員：50,000 円、それ以外：75,000 円。

◇無機成分分析用土壌認証標準物質 (全含有率および環境省告示 H15 年 19 号対応)
[JSAC 0402-2 (粉末状, 60 g 瓶入り, 新ロット), JSAC 0403 (粉末状, 50 g 瓶入り)]
JSAC 0401 に比べ高い濃度になるように褐色森林土に無機成分を添加調製した 2 種類のものである。土壌中の Cd, Pb, As, 全 Cr, Se, Cu, Zn, Ni, Mn, V, Hg, B, F の 13 成分の全含有率と一部の成分の 19 号対応土壌含有量をそれぞれ認証した。頒布本体価格：60 g 又は 50 g 瓶入り 1 本につき本会団体会員：50,000 円、それ以外：75,000 円。

◇有害金属成分分析用汚染土壌認証標準物質
[JSAC 0461 (低濃度)~JSAC 0466 (高濃度) (粉末状, 25 g 瓶入り 6 本組)]
工場跡地の再開発、土壌汚染調査などで土壌中の有害成分の分析のために、JSAC 0402, JSAC 0403 に比べ更に高い濃度になるように褐色森林土に Cd, Pb, As, Cr, Se, Hg の 6 成分の濃度を変えて添加調製した 6 種類のものである。頒布本体価格：25 g 褐色瓶入り 6 種類を 1 セットで、本会団体会員：140,000 円、それ以外：182,000 円。

◇無機成分分析用河川水認証標準物質
[JSAC 0301-4a (500 mL フッ素樹脂製瓶入り)]
新ロットを作製し、頒布を開始している。
河川水や類似したマトリックスをもつ水の無機成分分析における分析値の信頼性向上を目的に開発した。主要成分として、Cr, As, Cu, Fe, Mn, Zn, B, Al, Mo, U, K, Na, Mg, Ca の含有率を認証したものである。頒布本体価格：JSAC 0301-4a (500 mL フッ素樹脂製瓶入り 1 本) につき本会団体会員：25,000 円、その他：37,500 円。JSAC 0301-4a を単品で頒布しています。JSAC 0302 については次ロット作製中。

◇農薬成分分析用土壌認証標準物質 (シマジン, ディルドリン 全量分析および溶出試験対応)
[JSAC 0441 (シマジン—高濃度), JSAC 0442 (シマジン—低濃度) (粉末状, 60 g 瓶入り)]
農地および農地跡から採取した土壌中の残留農薬として、窒素系のシマジンと塩素系のディルドリンについてはその全量分析値を、また、シマジンについては溶出濃度 (H13 年環境庁告示

16号)を認証した土壌標準物質である。シマジンは土壌環境基準(溶出濃度)が定められているが、ディルドリンは現在環境基準の項目にない。頒布本体価格:60g瓶入り1本につき本会団体会員:25,000円,それ以外:37,500円。

◇無機成分分析用石灰炭灰認証標準物質

[JSAC 0521, JSAC 0522 (粉末状, 50g瓶入り, 2本組)]

国内炭灰および外国炭灰の2種類からなり,主要成分としてSi, Al, Fe, Na, K, Mg, Ca, P, Sr, Ti, C, Sの12成分並びに微量成分のAs, B, Be, Cd, Co, Cr, Cu, F, Hg, Mn, Ni, Pb, Se, V, Znの15成分および強熱減量(LOI)の含有率を認証したものである。頒布本体価格:50g入り褐色ガラス瓶2本1組1セット,本会団体会員:95,000円,その他:130,000円。

◇ダイオキシン類分析用フライアッシュ認証標準物質

[JSAC 0501 (高濃度), JSAC 0502 (低濃度) (粉末状, 50g瓶入り)]

都市ゴミ焼却炉の排煙集塵装置で捕集したフライアッシュ中のダイオキシン類成分の含有率を認証したものである。認証成分は,①2,3,7,8位が塩素置換された四ないし八塩素化ジベンゾパラジオキシン(PCDDs)およびそのジベンゾフラン(PCDFs)の異性体17種,並びにPCDDs, PCDFsの同族体10種,②ダイオキシン様PCBs(DLPCBs)の異性体12種,③ダイオキシン類合計とTEQ換算値である。頒布本体価格:50g瓶入り1本につき本会団体会員:100,000円,それ以外:150,000円。

◇ダイオキシン類分析用焼却炉ばいじん認証標準物質

[JSAC 0511, JSAC 0512 (粉末状, 60g瓶入り)]

木くずを主とするごみ焼却炉から捕集したばいじん中のダイオキシン類すなわち,①PCDDsおよびPCDFsの異性体並びに同族体,②DLPCBs異性体,③ダイオキシン類合計の成分含有率とTEQ換算値を認証したものである。頒布本体価格:60g瓶入り各1本につき本会団体会員:50,000円,それ以外:75,000円。

◇ダイオキシン類分析用土壌認証標準物質

[JSAC 0421 (低濃度), JSAC 0422 (高濃度) (粉末状, 60g瓶入り)]

廃棄物焼却場付近山林の表層及び中層土壌中のダイオキシン類すなわち,①PCDDsおよびPCDFsの異性体並びに同族体,②DLPCBs異性体および③ダイオキシン類合計の成分含有率とTEQ換算値を認証したものである。頒布本体価格:60g瓶入り1本につき本会団体会員:100,000円,それ以外:150,000円。

◇ダイオキシン類・PCB同族体分析用河川底質認証標準物質

[JSAC 0431 (低濃度), JSAC 0432 (高濃度) (粉末状, 60g瓶入り)]

河川で採取した底質中のダイオキシン類すなわち,①PCDDsおよびPCDFsの異性体17種並びに同族体10種,②ジオルト体を除くDLPCBs12種,③ダイオキシン類合計の成分含有率のほか,④PCDDsおよびPCDFsの1~10塩素化までのPCB同族体合計の成分含有率とTEQ換算値を認証したものである。頒布本体価格:60g瓶入り各1本につき本会団体会員:100,000円,それ以外:150,000円。

◇ダイオキシン類・PCB同族体分析用海域底質認証標準物質

[JSAC 0451 (低濃度), JSAC 0452 (高濃度) (粉末状, 60g瓶入り)]

国内海域で採取した底質中のダイオキシン類すなわち,①PCDDsおよびPCDFsの異性体17種並びに同族体10種,②

ジオルト体を除くDLPCBs12種,③ダイオキシン類合計の含有率のほか,④PCDDsおよびPCDFsの1~10塩素化までのPCB同族体合計の成分含有率とTEQ換算値を認証したものである。頒布本体価格:60g瓶入り各1本につき本会団体会員:100,000円,それ以外:150,000円。

◇ダイオキシン類分析用模擬排水認証標準物質

[JSAC 0321-3 (3L瓶入り, 2本組)]

極めて微細に粉碎したフライアッシュなどを水中に分散させて調製した模擬排水中のダイオキシン類すなわち,①PCDDsおよびPCDFsの異性体並びに同族体,②DLPCBs異性体および③ダイオキシン類合計の成分含有率とTEQ換算値を認証したものである。頒布本体価格:3L入り褐色ガラス瓶2本1組1セットで,本会団体会員:50,000円,それ以外:75,000円。

◇微量酸素分析用鉄鋼認証標準物質

[JSAC 0111 (円柱状, 1個瓶入り)]

表面の付着酸素を除く微量酸素の含有率を認証した鉄鋼(軸受け鋼)標準物質であり,認証値の決定は表面酸素の影響を受けない基準分析法としての荷電粒子放射化分析法によった。頒布本体価格:瓶入り1個で本会団体会員:15,000円,それ以外:22,500円。

◇微量金属成分分析用アルミニウム認証標準物質

[JSAC 0121-B (角状, 1個瓶入り), JSAC 0121-C (チップ状, 50g袋入り)]

高純度アルミニウムに微量の元素を添加して調製した標準物質で, Si, Fe, Cu, Mn, Mg, Zn, Ti, Cr, ZrおよびBの10元素の含有率を認証している。頒布本体価格:各形状とも本会団体会員:12,000円,それ以外:18,000円。

◇金属成分蛍光X線分析用鉛フリーはんだ認証標準物質

[JSAC 0131~JSAC 0134 (ディスク状, 4枚箱入り)]

RoHS規制対応および電気・電子部品などのはんだ付け工程の品質管理を目的に開発した。材質はSn-Ag-Cu系のはんだで, Pb, Cd, Ag, Cuの含有率を変えた4水準1組となっている。頒布本体価格:ディスク4枚入り1セット,本会団体会員:150,000円,その他:195,000円。

◇LSI用二酸化ケイ素認証標準物質

[JAC 0011~JAC 0013 (粉末状, 75g瓶入り3本組)]

高純度非晶質二酸化ケイ素粒子にUおよびTh溶液を含浸させ,乾燥,焼成して調製したもので,LSI関連材料中に微量に含まれるUおよびTh成分の分析に用いるものである。頒布本体価格:1セットで本会団体会員:150,000円,それ以外:200,000円。

◇LSI用高純度アルミニウム認証標準物質

[JAC 0021~JAC 0023 (片状,ピン状,角状ごとの3組)]

高純度アルミニウムを融解して調製したもので,LSI関連材料中に微量に含まれるUおよびTh成分の分析に用いる標準物質で,UおよびThの含有率は3水準である。頒布本体価格:1セットで本会団体会員:150,000円,それ以外:200,000円。

◇微量元素分析用 高純度マグネシウム認証標準物質

[JAC 0141~JAC 0143 (ディスク状, 3種)]

JIS H 2150に準拠したインゴットからピレットを作製し,押し出し加工により丸棒にし,ディスク状に切り出した標準物質で3~6元素を認証した。頒布本体価格:1ディスクで本会団体会員:40,000円,それ以外:60,000円。

◇汎用マグネシウム合金認証標準物質

[JAC 0151~JAC 0154 (ディスク状, 4種)]

JIS H 4203に準拠したマグネシウム合金を連続鍛造で作製したピレットを押し出し加工により丸棒にし、ディスク状に切り出した標準物質でAl, Mn, Znを主成分に他3~7元素を認証した。頒布本体価格:1ディスクで本会団体会員:40,000円、それ以外:60,000円。

*上記高純度マグネシウム認証標準物質3種を合わせた7種を1セット購入の場合、10%引きです。

◇栄養成分分析用粉乳標準物質

JSAC PT0711-4は好評のうち品切れとなり、頒布を中止いたしました。

◇栄養成分分析用魚肉ソーセージ標準物質

JSAC PT0721-4は好評のうち品切れとなり、頒布を中止いたしました。

申込方法 希望標準物質名(製品番号も明記)、申込者氏名、送付先(郵便番号、住所、所属、電話番号)、団体会員・それ以外の別(団体会員の場合は会員ID)、数量・料金、請求書宛名を明記のうえ、下記にお申し込みください。なお、本体価格は送料込み、消費税別です。

申込及び問合せ先 〒105-0012 東京都港区芝大門2-12-7 (RBM芝パークビル) 西進商事(株)東京支店〔電話:03-3459-7491, FAX:03-3459-7499, E-mail:info@seishinsoyji.co.jp, URL:http://www.seishinsoyji.co.jp/〕

技術的な問合せ先 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号(公社)日本分析化学会標準物質委員会事務局〔電話:03-3490-3352, FAX:03-3490-3572, E-mail:crmpt@ml.jsac.or.jp, URL:https://www.jsac.jp/〕

「分析化学」特集「高分子分析—この10年の進歩」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、高分子分析研究懇談会と共同で「高分子分析—この10年の進歩」と題した特集を企画しました。高分子材料の特性や分子構造を精密に分析することは、材料特性の発現機構の解明、精密な分子設計、さらには耐久寿命の予測などを行うための重要な基盤となっています。最近の分析機器の進歩やコンピューター技術の発展には目を見張るものがあり、これらの技術の進歩を再認識するために、今回の特集号を企画しました。

本特集号では高分子材料を対象とする、実試料の前処理、組成、分子構造、高次構造、構造と物性との相関、物性発現機構、および重合機構等の解析に関する基本原理、手法開発や解析実例などについての論文の投稿をお待ちしています。奮ってご投稿ください。詳細は「分析化学」誌12号またはホームページをご覧ください。

特集論文申込締切:2022年2月15日(火)

特集論文原稿締切:2022年4月15日(金)

「分析化学」年間特集「省」の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」では2010年より「年間特集」を企画しており、

2022年度は「省」をテーマとすることと致しました。

世界の総人口は現在約78億人となり、人々が健康で豊かに暮らしていくためには、限られた資源を有効に活用することが不可欠です。また、誰もが高度な科学技術や医療技術の恩恵を受けられるよう工夫することは、持続可能な開発の理念に資する。転じて我が国の近現代史を顧みますと、少ない資源の元での効率の良い技術開発はお家芸と表現しても過言ではなく、分析化学の分野においても、新しい分析方法・技術の開発や改良を通して、複雑化・多様化した現代社会に大きく貢献しているところ です。

こうした背景から、本特集では「省」をキーワードとして分析化学における基礎・応用を含めて幅広い観点で見渡し、分析化学が担う役割を社会に向けて発信することを目的としています。国内外、産学官を問わず、「省」に関わる分析化学の研究・開発に従事されている多くの皆様方からの投稿をお待ちしておりますので、是非この機会をご活用ください。なお、詳細は「分析化学」誌の12号及びホームページをご参照ください。

特集論文原稿締切:2022年4月22日(金)(第3期)

初めて書く論文は母語の日本語で！
“第21回若手研究者の初論文特集”募集のお知らせ

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会では、2022年(第71巻)に第21回「若手研究者の初論文特集」を企画します。卒研究生、修士・博士課程院生並びに若手研究者の方々にとって、ご自分の研究成果を日本語で投稿できるよい機会です。なお、2019年より本特集を年間特集とし、都合の良いときに執筆して投稿できるようにしました。年間を通して論文原稿を受け付け、審査を経て掲載になり次第随時掲載いたしますので、奮ってご投稿ください。

なお、詳細は「分析化学」誌HPをご参照ください。

「分析化学」の掲載料についてのお知らせ

「分析化学」誌では、2020年4月より論文掲載料を以下の計算式にしたがってお支払いいただき、pdfファイルを進呈することになりました。なお、論文の別刷を希望される場合は、別途別刷頒布料金をお支払いいただくことにより購入することができます。

掲載料金計算式(P:印刷ページ数)(単位:円)

会員の場合:30,000+5,000×(P-4)(印刷ページ数が14ページ以上は一律80,000円)

会員外の場合:40,000+5,000×(P-4)(印刷ページ数が14ページ以上は一律90,000円)

*上記に消費税がかかります。

「Analytical Sciences」別刷頒布価格のお知らせ

「Analytical Sciences」掲載の投稿論文の別刷頒布価格は下記のとおりです。

1. 頒布部数:50部を最小単位とし、以降50部単位で頒布します。

2. 価格:次の計算式に従って算出された値(円)。

$$20000 + 2500 \times p + 25 \times p \times (n - 50)$$

但し、 p は掲載論文の印刷ページ数で、奇数の場合には1を加えた値、 n は別刷希望部数。

3. 消費税 10 % がかかりますので、ご了承ください。

ぶんせき誌「技術紹介」の原稿募集

『ぶんせき』編集委員会

分析化学は種々の分野における基盤技術であり、科学や産業の発達・発展だけでなく、安全で豊かな生活の実現に分析機器が大きく貢献してきました。近年の分析機器の高性能化・高度化は目覚ましく、知識や経験がなくても、微量物質の量や特性を測定できるようになりました。この急速な発展は、各企業が持つ高度で多彩な技術やノウハウによって達成されたといっても過言ではありません。一方、高度化された分析機器の性能・機能を十分に発揮させるためには、既存の手法に代わる新規な分析手法が必要であり、高度な分析機器に適合した分析手法や前処理手法の開発が分析者にとって新たな課題となっています。また、分析目的に合致した高純度試薬の開発に加えて、測定環境の整備、試薬や水の取り扱いなどにも十分な配慮が必要です。極微量の試料を分析する際には、測定原理を把握すると共に、手法や操作に関する知識・技能を身に着ける必要があると考えます。

このような背景に鑑み、『ぶんせき』誌では新たな記事として「技術紹介」を企画いたしました。分析機器の特徴や性能、機器開発に関わる技術、そしてその応用例などを紹介・周知することが分析機器の適正な活用、さらなる普及に繋がると考えており、これらに関する企業技術を論じた記事を掲載することといたしました。また、分析機器や分析手法の利用・応用における注意事項、前処理や操作上のコツなども盛り込んだ紹介記事を歓迎いたします。これらの記事を技術紹介集として、『ぶんせき』誌ホームページ内に蓄積することで、様々な分野における研究者や技術者に有用な情報を発信でき、分析化学の発展に貢献できるものと期待しております。分析機器や分析手法の開発・応用に従事されている多くの皆様方からのご投稿をお待ちしております。

記

1. 記事の題目：「技術紹介」
2. 対象：以下のような分析機器、分析手法に関する紹介・解説記事
 - 1) 分析機器の特徴や性能および機器開発に関わる技術、
 - 2) 分析手法の特徴および手法開発に関わる技術、
 - 3) 分析機器および分析手法の応用例、
 - 4) 分析に必要な試薬や水および雰囲気などに関する情報・解説、
 - 5) 前処理や試料の取扱い等に関する情報・解説・注意事項、
 - 6) その他、分析機器の性能を十分に引き出すために有用な情報など
3. 新規性：本記事の内容に関しては、新規性は一切問いません。新規の装置や技術である必要はなく、既存の装置や技術に関わるもので構いません。また、社会的要求が高いテーマや関連技術については、データや知見の追加などにより繰り返し紹介していただいても構いません。
4. お問い合わせ先：日本分析化学会『ぶんせき』編集委員会 [E-mail : bunseki@jsac.or.jp]

知識』を堪能できます。本書は下記 10 章からなり、それぞれに 12 から 14 の話題が集められています。

1. 実験器具に用いられる素材の特徴
2. 分析がかかわる資格
3. 顕微鏡と画像データ処理
4. 最新の web 文献検索データベース
5. ポータブル型分析装置
6. 分析化学と材料物性
7. 分析化学者のための多変量解析入門
8. 土壌分析
9. サンプルング
10. 前処理に必要な器具や装置の正しい使用方法

過去のミニファイルをファイリングしておきたいときに、初学者への参考書をお探しのときに、また、非学会員の方に分析化学会のアピールをしたいときに、ぜひご利用ください。本書はアマゾンオンデマンド出版サービスを利用して出版した書籍ですので、書店には並びません。アマゾンサイトからのネット注文のみとなりますので、ご注意ください。ネットで「ぶんせき再録集」と入力して検索しても、すぐに出てきます。詳しくは「ぶんせき」誌ホームページをご確認ください。

『ぶんせき』再録集 vol. 1 出版のお知らせ

ぶんせき誌の過去記事の有効利用の一環として、記事をまとめて書籍化するという試みを行っています。2021年5月10日に、『ぶんせき』再録集 vol. 1 が出版されました。この巻には、2011年から2020年まで、10年間分の〈ミニファイル〉の記事が詰まっています。たっぷり256ページ、2,750円（税込み）のお値打ち本です。多岐にわたる『知って得する分析化学の豆